

にこにこ笑顔でスポーツ大会

第28回福祉スポーツ大会

10月22日、町総合体育館で第28回益城町福祉スポーツ大会が開催され、約700人もの人に参加しました。

社会福祉関係団体や福祉施設入所者の親睦を深めるとともに、体力の向上を図り、積極的に参加することにより、広く地域社会に対し理解を深めることを目的として、毎年開催されているこの大会。毎年恒例となっているパン食い尻圧測定などの各種競技や午後からのアトラクションに会場からは笑い声が止まりませんでした。



01



02



03



04

- 01_10人が一致団結してつないだうちわりレー
02_笑いあり!冷や汗あり!!で大いに盛り上がった京次郎の歌舞伎マジック
03_ひょっとこのコミカルな踊りに観客も大興奮
04_笑いが途切れることのない観客席

本町でも、今後着実に進むことが見込まれている高齢化社会を前に、関係機関と連携しながら、高齢者が安心して暮らせる「日本の町」を目指そうと、11月2日、「認知症地域支援合いセミナー」(町・町社会福祉協議会主催)が、町文化会館で開催され、町民約450人が集まりました。

基調報告では「共に支え合う暮らしやすい地域づくり」と題して、県社会福祉協議会の加藤貴一郎事務局長が、近年の家庭や地域の変化と高齢化率、課題などについて報告し、小地域ネットワーク活動の推進と住民主体(主役)の地域福祉について講



基調講演を行う池田武俊氏



基調報告を行う加藤貴一郎氏

共に支え合う地域づくりを

認知症地域支え合いセミナー

演しました。

続いて、基調講演では「認知症になっても地域で暮らし続けることを支えるまちづくり」と題して、大牟田市保健福祉部長寿社会推進課の池田武俊課長が、今年で10年目を迎える大牟田市認知症ケアコミュニティ推進事業について紹介。大牟田市が全市をあげて取り組んでいる徘徊模擬訓練や教育現場と一体となった絵本教室などの先進的な取り組みとその現状についての講演につめかけた参加者たちは熱心に聞き入っていました。



会場にはいっぱいの観客が詰めかけました